

# 奥羽大学報



令和6年度 入学式

## 目次

奥羽大学の理念・目的 / 令和6年度 入学式 / 告辞 .....	1
新入生代表宣誓 / 特待生之証授与式 .....	2
歯学部新入生オリエンテーション / 薬学部新入生オリエンテーション 大学院入学式・新入生オリエンテーション / 歯科医師国家試験 薬剤師国家試験 / 献体者合同慰霊式 .....	3
実験動物供養 / 2024年度 歯学部教育後援会・保護者懇談会 第1回薬学部オープンキャンパス 仙台マラソンへの学生ボランティア参加 .....	4
2024年度第1回FD研修会の開催 / 第75回奥羽大学歯学会の開催 ちよっと寄り道 .....	5
第67回春季日本歯周病学会学術大会 / ようこそ新入生コーナー .....	6
臨床実習登院式 / 歯科医師臨床研修開始式 / 自著を語る .....	7
薬学部就職先一覧 奥羽大now「初期齲蝕のエナメル質を再石灰化させるガム POs-Ca」 .....	8
キャンパスの風景 .....	9
学校法人晴川学舎 2023年度決算報告 .....	10
新任教授紹介 .....	11
同窓生のひろば .....	12
人事 .....	13

# 177

通算 第302号

## 奥羽大学の理念・目的

## 理 念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

## 目 的

奥羽大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）並びに学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

## 令和6年度 入学式

4月4日(木)午前11時より、第2講義棟第1講義室にて、令和6年度入学式が行われた。式は国歌斉唱に始まり、安部仁晴大学院研究科長の学事報告と続き、新入生45名（歯学部26名、薬学部19名）及び編入生32名（歯学部25名、薬学部7名）の全員が呼名され、入学が許可された。清浦有祐学長より新入生への期待に満ちた告辞があり、これに対して入学生を代表し、歯学部佐藤祐輔さん、薬学部渡部凜美さんが、「建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念する」と誓った。また、瀬川洋歯学部長、押尾茂薬学部長より、各学部の特待生（歯学部15名、薬学部4名）の代表者に対して証の授与があった。最後に教授紹介が行われ、厳粛な雰囲気のうちを終了した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本学は令和2年度から令和5年度にかけて、入学式を中止していた。入学式は、人生の中でも将来へ希望を繋ぐ節目にあたり、新入生、ご家族の皆様にとっては心待ちにしている行事である。久々に行われた入学式には、来場者の満面の笑みがあった。

## 告 辞

## 学長 清 浦 有 祐

奥羽大学に入学された皆さん、誠におめでとうございます。本学を代表して心から歓迎いたします。長年にわたってご子息・ご息女の勉学

を支えてこられたご家族、保護者の方々にもお祝いを申し上げます。

また、入学式を挙行するにあたり、ご臨席を賜りました学校法人晴川学舎理事長大桶志延先生を始めとしたご来賓の皆様方に心よりお礼を申し上げます。

2020年からの4年間は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行によって、皆さんの学生生活には大きな制約がかかり、自粛の毎日であったと思います。しかし、その中でも自分自身の目標を見失わずに、歯科医師、薬剤師になるという強い目標を持って本学に入学された皆さんに心から敬意を表します。

本学は創立者の故影山四郎先生により東北初の歯科大学である東北歯科大学として開学され、今年で創立52年を迎える長い歴史を持つ医療系総合大学であり、多くの歯科医師、薬剤師を輩出してきました。

奥羽大学の建学の理念は、「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」ことです。我々教員一同はこの理念を念頭に教育にあたっています。皆さんは本日から奥羽大学の学生として、歯科医師、薬剤師を目指すこととなりますが、次の3つの事柄を常に意識して勉学に励んでください。

まず、第一は本学の最も大切な建学理念である「人間性豊かな人材」になることです。「人間性豊かな」ということは、「人としての徳」を持ち、「人を思いやる心を持つ」ことです。歯科医学、そして薬学は単なる理系のサイエンスではありません。「人」をその対象とし、人の健康と幸せ

に貢献するための学問です。

「人を思いやる心」がなければ、病に苦しむ方々の気持ちと意思を尊重して、適切な医療を施すことはできません。「人を思いやる心」は、医療従事者として必ず身に付けなければならない資質です。

第二は、「高度な専門知識と技術を備えた」歯科医師、あるいは薬剤師という医療の専門職になることです。専門職とは、長期間の教育訓練を通じて習得される高度な専門知識を必要とする職業です。決して安易になれる職業ではありません。そのために国家試験があり、国家試験の前には共用試験と呼ばれる国家試験の準備試験とも呼べる試験に合格しなければなりません。皆さんの人生の中で最も勉強に励まなくてはならない6年になると思います。しかし、心配はいりません。奥羽大学の教育カリキュラムに従って学修することで必ず成し遂げられます。本学の教員は、日本の医療系大学の中で最も強い熱意を持って教育を行っています。勉学に不安を感じたり、疑問を持った際はどうかすぐに皆さんの担任となる教員に相談してください。必ず明確な答えを示してくれます。

最後に、現在の日本社会は第4次産業革命の只中にあります。第4次産業革命とは、人工知能、すなわちAIを搭載したコンピュータが自分で判断し動くシステムが中心となる社会です。現在、医療の場でもAIは驚くべきスピードで活用が広がっています。AIが全盛期を迎える時代を生きる皆さんは、AIを使いこなす能力を身に付けなくてはなりません。本学でも今後はこの第4次産業革命を見据えた歯学教育、薬学教育を行って行きます。そして、これに加えて重要なことは、AIで代替できないスキル、すなわち人工知能ではなく、人でなければ成しえないスキルが医療人には求められます。このスキルこそが、人としての倫理観であり、他人のために社会のために尽くすという意識であり、本学の建学理念である「人間性豊かな人材」につながるものです。

皆さんであれば、必ずこの3つのことを達成することができますと信じています。6年後に皆さんが、「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな」人材となって、奥羽大学を巣立って行くことを教員全員で支援して行くことをお約束して、新入生諸君への告辞とさせていただきます。

## 新入生代表宣誓

本日は、私達一同にとりまして、生涯忘れることのできない大きな喜びであります。

ただ今、学長先生の告辞をいただき、大学生としての自覚と責任の重大さを強く認識いたしました。

私達入学生一同は、ひとときの喜びにおごることなく、一日一日の積み重ねを大切にして、建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念することを誓います。

令和6年4月4日

入学生代表 歯学部歯学科 佐藤祐輔  
薬学部薬学科 渡部凜美



誓いの言葉を述べる新入生ら

## 特待生之証授与式

本学では、2015年度に特待生制度を設け、2024年3月には四期特待生が卒業した。学費全額または半額免除の経済支援を受けた特待生は、歯科医師・薬剤師として地域医療を通じ社会に貢献してくれるものと期待される。

今年度の特待生之授与式は、在学生ガイダンス期間中に各学年別に行われ、清浦有祐学長から「特待生之証」が授与された。1年生には4月5日(金)、新入生オリエンテーション終了後に授与された。特待生の資格は基準により最大6年間継続できるが、これまでに大多数の特待生が資格を継続している。

(特待生之証授与者数)

第1学年	歯学部15名	薬学部4名	計19名
第2学年	歯学部12名	薬学部13名	計25名
第3学年	歯学部13名	薬学部8名	計21名

第4学年 歯学部11名 薬学部 9名 計20名  
 第5学年 歯学部17名 薬学部17名 計34名  
 第6学年 歯学部13名 薬学部18名 計31名

### 歯学部新入生オリエンテーション

4月4日(木)の入学式に引き続き、同日及び翌5日(金)の2日にわたり第3講義棟にて歯学部新入生を対象としたオリエンテーションを開催した。

4月4日には新入生と教育支援者を対象に、学長、歯学部長、学生部長の挨拶にはじまり、学年主任、クラス担任、カウンセラーの紹介、さらには学生生活関係、教務関係の説明が行われた。翌5日午前には歯学部長、学生部長からの訓示の後、授業科目担当教員から各科目の概要の説明があった。午後からはクラス別ガイダンスと学内見学を行なった。

このオリエンテーションから、新入生は将来歯科医師となる自分を夢見て、その第一歩を歩み出した。

### 薬学部新入生オリエンテーション

4月5日(金)に第3講義棟322教室において薬学部新入生オリエンテーションが実施された。今年度は前日の4日(木)に入学式が挙行され、この日は新1年生と編入生が新たな気持ちで大学生活のスタートを切った。オリエンテーションでは、学長、学部長、学生部長、学年主任、副学年主任からの挨拶の後、大学生活、カウンセリング室の利用、ポータルサイト、奨学金などの説明が行われた。説明終了後の全体写真撮影では新1年生と編入生から笑顔が溢れる一面も見られた。引き続き、履修ガイダンスが実施され、薬学部の3ポリシー、学事日程、選択科目の履修上の注意に関する説明があった。週が開けた8日(月)に新1年生と編入生は実習用の白衣を受取り、さらに新1年生のフレッシュマンセミナーでは、4~5月にわたり飲酒・喫煙・違法薬物に関するガイダンスも実施された。

### 大学院入学式・新入生オリエンテーション

2024年度大学院入学式が4月4日(木)に附属病院棟5階第3会議室にて、大学院各専攻科目担当教員参列のもと挙行された。式では新入生10名が

呼名され、清浦有祐学長より入学が許可された。続いて、学長より研究者としての理念、研究活動の意義、大学院生の心構えについて告辞が述べられた。

入学式終了後、大学院オリエンテーションが開催され、安部仁晴研究科長からカリキュラムマップに基づいた入学後から学位取得までの流れと研究倫理の重要性についての説明があった。

### 歯科医師国家試験

第117回歯科医師国家試験は、1月27日(土)と28日(日)に実施され、3月15日(金)に合格者が発表された。本学からは新卒受験者63名中38名が合格、全体で132名中58名が合格した。

### 薬剤師国家試験

第109回薬剤師国家試験は、2月17日(土)と18日(日)に実施され、3月19日(火)に合格者が発表された。本学からは新卒受験者118名中51名が合格、全体で209名中80名が合格した。

### 献体者合同慰霊式

2024年度奥羽大学献体者合同慰霊式は、5月30日(木)午後1時より郡山市内にある霊鷲山常居寺の慰霊碑前において執り行われた。2023年度成願者18名のご尊名が拝誦され、霊札納塔の儀が執り行われた。式では清浦有祐学長の式辞、学生代表の今野幹太さんによる追悼の辞が述べられ、続いて参列された方々、本学学生による献花が行われた。ご献体をされた方々ならびにご遺族に感謝し、参列者全員でご冥福を心からお祈りした。



追悼の辞を述べる今野幹太さん

## 実験動物供養

5月30日(木)、郡山市片平町の霊鷲山常居寺実験動物供養塔前にて、実験動物供養がしめやかに営まれた。動物実験委員会委員長、動物実験研究施設長、歯学部第2学年学生及び動物実験に関わる歯学部・薬学部教員が参列した。生命科学の目覚ましい進歩は、実験動物の犠牲の上に成し遂げられたものである。本学における教育と研究のために尊い命を捧げてくれた多くの実験動物に対して、参列者全員で心から感謝を表した。



合掌する参列者

## 2024年度 歯学部教育後援会・保護者懇談会

6月8日(土)、2024年度歯学部教育後援会第2回総会が、第2講義棟にて開催された。その後、歯学部の保護者懇談会が行われた。3年ぶりの開催とあってか、保護者からは、普段の生活の様子や進級基準、国家試験の傾向やCBT・OSCEに関する事など、学業全般に関係する質問が多数なされた。クラス担任が現況を説明し、学習のアドバイスを行うなど、丁寧に回答した。それぞれ予定時間を越えて行われ、実りの多い会となった。



現況を説明するクラス担任

## 第1回薬学部オープンキャンパス

6月15日(土)に、奥羽大学薬学部オープンキャンパスを開催した。将来へ向けて大きな夢を抱いている高校生に向けて、奥羽大学薬学部の特色やスペシャリストとしての薬剤師の活躍などについて紹介した。

守屋孝洋教授が「免疫で「がん」をやっつける ～がん薬物療法の最先端～」という内容で、免疫機能を利用した抗がん剤についてわかりやすい講義を行った。今回初めての実施した本学の入試問題解説では、多くの生徒が真剣に耳を傾けていた。この他にも化学実験、組織標本観察、生薬茶の試飲など薬学についての紹介を行った。また、在校生による学生生活紹介や在校生への質問コーナーが設けられ、高校生の素朴な疑問について在校生の視点でアドバイスを行った。さらに、植物園見学も行われ、たくさんの方にご来場いただいた。これらからもオープンキャンパスを通じて薬学及び本学の魅力を発信していく予定である。



薬学部の特色について説明する押尾茂薬学部長

## 仙台国際ハーフマラソンへの学生ボランティア参加

5月12日(日)に行われた東北最大のマラソン大会「仙台国際ハーフマラソン」に、本学のライフサポート部が救護ボランティアとして参加した。コロナ禍で活動できなかった時期を経て、久々のボランティア参加になるため、今回は本学の教員になっているライフサポート部のOB/OGも一緒に参加した。当日は晴天のため、ランナーが脱水などで救護を必要とする中、医師、看護師、他大学の学生ボランティアなどとともに救護に当たる中で新たな絆も生まれ、参加者はやりが

いや手ごたえも感じ取ることができ、以前より活気や笑顔が戻ってきたように感じられた。



ライブサポート部のメンバー

## 2024年度第1回FD研修会の開催

本学教員を対象とした2024年度第1回FD研修会が、6月7日(金)の午後5時15分から開催された。講師は、自治医科大学医学教育センター特別教授の岡崎仁昭博士で、「医学教育センターにおける医学教育への取組み」という題で講演が行われ、175名の教員・大学院生・臨床研修歯科医が参加した。

自治医科大学は、優れた医学教育を実施していることで全国的に評価の高い医科大学であり、特に医師国家試験合格率は、2023年度も100%という素晴らしい成果を上げている。講演の中で、自治医科大学で行われている様々な教育的取り組みが紹介された。学生の学力を向上させ

るために自治医科大学の教員の方々が強いつい熱意を持って教育を行っていることがよく理解でき、国試100%合格は決して偶然ではなく、当然の結果であることが実感できる内容であった。



熱心に話を聞く参加者

## 第75回奥羽大学歯学会の開催

第75回奥羽大学歯学会が6月8日(土)にZoomを用いたオンラインで開催された。教員・大学院生・学部学生その他、オンライン開催のため遠方に住む社会人大学院生や卒業生も含めて多くの学会員が参加した。

全14演題のうち13演題が大学院生による学位口演で、いずれの演題も大学院での長年の努力の結果が認められる内容であった。発表に対して活発な質疑応答も行われ、発表者にとって今後の学位論文作成に有意義な意見が多く寄せられた。また、学位口演以外では、歯科医学教育に関する1演題の発表もあった。

## ちょっと寄り道! 清少納言も礼讃した紅梅殿

今日、学問の神様として尊崇されている菅原道真(845~903)は京都の邸宅に紅梅殿と呼ばれる文庫を所有していた。清少納言は『枕草子』(第20段)の中で、この紅梅殿をすばらしい邸宅のひとつとして挙げている。相当世間にきこえた立派な屋敷であったことが想像される。文庫の名は庭先に梅があったことに因んだのであろう。

この紅梅殿は道真が進士の試験に合格した折、文章博士である父の是善から邸内の一部を書齋として与えられたもので、多くの図書を所蔵していた。道真は己の学問の成就のみならず、菅原氏一門の子弟に書庫を開放した。子弟が多くなるにつれて、廊下でも講義が行われたので菅下廊下と呼ばれ、進士への登竜門となった。

小野則秋著の『日本文庫史研究』によると「紅梅殿は厳密なる意味に於いては文庫というよりもむしろ書齋と見るべきものであるが、上代未だ文庫の発達しなかった初期的形態に於いて見るならば、これもまた文庫の範疇に入れて差支へないであらう」と述べている。

この紅梅殿には、どれ位の図書が所蔵されていたかは詳らかでないが、代々文章博士の家柄だけに相当程度はあったと思われる。「文庫」としては限られた人への公開であったが、一種の私塾としての教育的機能を兼ね備えた機関として注目される。(A)

### 第67回春季日本歯周病学会学術大会の開催

5月24日(金)～25日(土)、本学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野高橋慶壮教授を大会長として第67回春季日本歯周病学会学術大会がビッグパレットふくしまで開催された。天候にも恵まれ、2000名を超す現地参加者があり成功裏に終了した。オンライン参加を併せて4300名の参加を目標としている。

コロナ禍にあった4年前の第63回大会では、高橋教授と当時大会準備委員長であった故大島光宏元薬学部教授の尽力により、対面開催からWEB開催に切り替えての情報発信が行われた。その後、学術大会の参加形式が現地参加とオンライン参加のハイブリッド方式に変わり、今回

の第67回大会では、「歯周病の精密及び個別化医療」をテーマに各方面から優れた研究者と臨床家を招聘した。多因子性の慢性疾患と定義される歯周炎の病態研究と、実際に行われている最新の歯周治療及び将来展望について学べる場となった。



学術大会の様子

## 図書館

### ようこそ新入生コーナー

図書館1階に「ようこそ新入生コーナー」を設けました。本に親しんでもらうために、ジャンルを問わず、新入生におすすめの単行本を並べたところ好評で、日本語学Ⅰの授業「図書館利用術」で訪れた1年生たちは、それぞれ関心のある本を手に取り、熱心に読んだり、借りる手続きをしたりしていました。また、2年生以上の学生や教職員もコーナーの前で立ち止まり、興味深く見えています。



あらゆるジャンルの本が並ぶ「ようこそ新入生コーナー」



専門への入門書にもなる一般向けの本

#### — ようこそ新入生コーナーで人気がある上位10冊 —

- 『大学で何を学ぶか』 加藤諦三 KKベストセラーズ
- 『全国マン・チン分布考』 松本修 集英社インターナショナル
- 『全国アホ・バカ分布考』 松本修 新潮社
- 『やっぱり歯医者って素晴らしい』 奥原利樹 デイスクォーター BP
- 『大森、田舎で歯医者やってるってよ。』 大森翔英 サンライズパブリッシング
- 『マンガでわかる薬剤師』 ネーヤ 河出書房新社
- 『日本語が消滅する』 山口仲美 幻冬舎
- 『歯医者は医者かと問う勿れ』 秋元秀俊 生活の医療株式会社
- 『孤独という病』 池田清彦 宝島社
- 『薬剤師の新しいキャリアデザイン戦略』 流石学 長谷川周重 ログカ書房

## 臨床実習登院式

4月5日(金)、病院棟5階臨床講義室で歯学部第5学年54名の臨床実習登院式が行われた。鈴木史彦附属病院長から、これまでの座学で培った知識を臨床実習を通じて定着させる必要性や、模型と異なり、患者に対応する実習であることの注意点について訓示があった。学年学生委員長の國分瑚楠さんが代表として、附属病院のルールに則って臨床実習を行うことを宣誓した。今後、各診療科でローテーション方式の実習が行われる。



54名が臨んだ登院式

## 歯科医師臨床研修開始式

2024年度歯科医師臨床研修開始式が4月1日(月)に挙行された。鈴木史彦病院長より、単独型研修プログラム20名、地域医療短期プログラム4名、地域医療長期研修プログラム4名の計28名の研修が許可された。

山森徹雄研修管理委員長の訓示では、挨拶、時間厳守、事後報告の大切さが述べられた。研修歯科医はこれから始まる歯科医師人生への期待と不安を胸に、生涯研修の一步を踏み出した。



歯科医師臨床研修開始式

## 自著を語る

## 『組織学・口腔組織学 第5版』

安部仁晴、磯川桂太郎、稲井哲一朗、野中直子、本田雅規、山座孝義、山本 仁著  
わかば出版 2024年3月10日発行



本書の初版は、昭和大学歯学部口腔組織学講座教授であられた故佐々木崇寿先生の御尽力により、2002年に発行されました。その後、歯科医師国家試験出題基準や歯学教育モデル・コア・カリキュラムに沿った内容へと改訂が繰り返され現在に至ります。

本書の特色は、初版より引き継がれている電子顕微鏡写真の素晴らしさにあります。現在の形態学的研究では、10年前20年前と比べて、電子顕微鏡がツールとして使用される頻度は少なくなってきております。しかし昨今の歯科医師国家試験やCBTでは、電子顕微鏡写真を用いた問題が出題される傾向にあり、電子顕微鏡写真の読影が求められています。この点からも本書の鮮明な電子顕微鏡写真は、細胞内の特徴を把握するための視覚素材として最適であると考えております。

しかし、電子顕微鏡写真は普段目にする画像とは異なり、イメージすることは困難を極めます。本書のもう一つの特色に、電子顕微鏡写真や光学顕微鏡写真を読影しやすくするために、模式図を使用した説明が数多く盛り込まれている点も挙げられます。

細胞の「形」を単に暗記し覚えるだけでなく、「機能」に結びつけるために、歯学教育を受ける学生諸君に本書を是非活用いただきたいと思ひます。

(歯学部 生体構造学講座 口腔組織学分野 教授 安部仁晴)



## 薬学部就職先一覧 (2024年3月卒)

### 【病院】

一般財団法人太田総合病院、一般財団法人慈山会医学研究所付属坪井病院、日本赤十字社福島赤十字病院、社会医療法人志仁会三島中央病院、公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院、一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院、一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院、東北大学病院

### 【薬局】

株式会社アインホールディングス、いまいメディカルグループ、クラフト株式会社、コスモファーマ、佐渡調剤薬局、サンハルク株式会社、そうごメディカル株式会社、ファーマシー初心、株式会社モリキ、株式会社わかば、山口薬品株式会社、ブルークロス株式会社

### 【ドラッグストア】

ウエルシア薬局株式会社、株式会社カワチ薬品、株式会社クスリのアオキ、株式会社サンドラッグ、スギ薬局、株式会社ツルハホールディングス、株式会社ハシドラッグ、株式会社マツモトキヨシ

### 【公務員】

福島県職員

## 奥羽大 NOW

### 「初期齲蝕のエナメル質を再石灰化させるガム POs-Ca」

～リン酸化オリゴ糖カルシウムについて～

6月4日から10日は歯と口の健康週間です。そこで、本学の口腔衛生学講座の南健太郎講師に、以前開発に協力した初期齲蝕を呈する歯の再石灰化を促進させるガム「POs-Ca」についてお聞きしました。このガムには、ジャガイモから抽出された成分であるリン酸化オリゴ糖カルシウムが配合されており、この成分こそが歯を再石灰化させる主役とのことです。

このリン酸化オリゴ糖カルシウムは、ミュータンレンサ球菌の栄養源にならず、ショ糖の発酵によるプラーク内pH低下の抑制と、カルシウム溶出による歯質の再石灰化の促進という働きをもっているとのこと。そのため、この成分が配合されているPOs-Caを噛むことにより、初期脱灰されたエナメル質表層の再石灰化が促進するそうです。

現在POs-Caは、さらにフッ化物を配合し「POs-Ca F」と名前を変え、より歯質の再石

灰化効果が高いものとなって販売されているそうです。

現在、南講師は、病院や介護施設で口腔内の乾燥を防止するために使用されている口腔保湿剤にリン酸化オリゴ糖を配合し、お口の中の湿潤や保湿効果だけでなく、同時に歯の再石灰化を促進させる新たな口腔保湿剤の研究もされているそうです。最後に南講師は、「多くの方に役立つ研究ができれば幸いです」と語っておられたのが印象的でした。



歯の再石灰化を促進させるガム「グリコ POs-Ca」

キャンパスの  
風景

「創立者 影山四郎 像」

富永直樹作

夫れ志の在る所、気も亦従ふ。志気の在る所、  
遠くして至るべからざるなく、難くして為すべからざるものなし。  
吉田松陰

写真の塑像は、富永直樹氏の作品である。1989年12月、除幕式にてお披露目された。現在は、本学薬学棟の薬学部長室に安座されている。

1913年、富永直樹（本名・富永良雄）氏は、長崎県長崎市に生まれた。東京美術学校（現・東京芸術大学）彫刻科塑像部を首席卒業している。在学中の1936年には、日展の前身である文展に「F子の首」で初入選した。以来、日展を主な舞台に活躍していた。1950年から1952年にかけて、3年連続で日展の特選を受賞した。日展理事、理事長を歴任した後、日展顧問となった。本学の「躍進」像と「Christmas Eve」像も、富永氏の作品である。

本学は、1972年に北海道・東北地方における唯一の歯科大学として、影山四郎先生により創設された。当時、この地域は、歯科医師と歯科診療所の少なさから、虫歯や歯周病に悩む患者が十分な歯科医療を受けることができない状態にあった。そのような状況を打破するため、影山先生は周囲からの反対の声に動じることなく、確固たる信念に基づいて歯科大学を開学された。

創立者である影山先生の座右銘は、「志ある者事遂に成す」という言葉であった。ノーベル医学生理学賞を受賞した本庶佑氏も、「簡単にはなかなか結果が出ない長い研究生生活の中で、心が折れそうになったりしたこともたくさんあったが、決してあきらめずに『有志竟成』という言葉をいつも胸に秘め、長い研究生生活を頑張りぬいた」と語っている。お二人から、「人生に大切なことは『志』、すなわち『人生における目標』である」と言われているような気がしてならない。吉田松陰の、「夫れ志の在る所、気も亦従ふ。志気の在る所、遠くして至るべからざるなく、難くして為すべからざるものなし」という言葉も、それに加担する。自分の「こうなりたい、これを絶対成し遂げる」という強い思いは、今の自分を一回り大きくしてくれるだろう。

初めて「影山四郎像」をご覧になる方もいるのではなかろうか。毅然とした面持ちの一方で、「隣人を思いやる心」、「人の役に立ちたいと思う心」があふれ出ているように思える。換言すれば、本学の建学の精神である「豊かな人間性」が、ここに象徴されていると言える。

今日も影山四郎先生は、本学の将来に大きく期待しつつ、温かい眼差しで見守ってくださっている。

（文 本多真史）



（本学創立者である影山四郎先生の像）

## 学校法人晴川学舎 2023年度決算報告

## 1. 資金収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,463,805,000	2,222,217,000	241,588,000
	補助金収入	361,358,000	456,527,600	△ 95,169,600
	その他の収入	2,253,254,000	1,811,273,824	441,980,176
	前年度繰越支払資金	1,181,716,505	1,181,716,505	0
	収入の部合計	6,260,133,505	5,671,734,929	588,398,576
支出の部	人件費支出	2,441,421,000	2,196,107,269	245,313,731
	教育研究経費支出	1,815,431,000	1,349,973,270	465,457,730
	その他の支出	1,285,529,000	678,223,719	607,305,281
	翌年度繰越支払資金	717,752,505	1,447,430,671	△ 729,678,166
	支出の部合計	6,260,133,505	5,671,734,929	588,398,576

## 2. 事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	2,463,805,000	2,222,217,000	241,588,000
	経常費等補助金	361,358,000	359,344,600	2,013,400
	その他の収入	712,182,000	651,166,856	61,015,144
	教育活動収入計	3,537,345,000	3,232,728,456	304,616,544
	事業活動支出の部			
	人件費	2,178,995,000	2,173,863,722	5,131,278
	教育研究経費	2,186,093,000	1,712,970,801	473,122,199
	その他の支出	436,165,000	413,434,637	22,730,363
	教育活動支出計	4,801,253,000	4,300,269,160	500,983,840
教育活動収支差額	△ 1,263,908,000	△ 1,067,540,704	△ 196,367,296	
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金、その他収入	28,354,000	28,098,788	255,212
	教育活動外収入計	28,354,000	28,098,788	255,212
	事業活動支出の部			
	借入金等利息、その他支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	28,354,000	28,098,788	255,212	
経常収支差額	△ 1,235,554,000	△ 1,039,441,916	△ 196,112,084	
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額、その他収入	500,000	98,527,118	△ 98,027,118
	特別収入計	500,000	98,527,118	△ 98,027,118
	事業活動支出の部			
	資産処分差額、その他支出	0	21,766,128	△ 21,766,128
特別支出計	0	21,766,128	△ 21,766,128	
特別収支差額	500,000	76,760,990	△ 76,260,990	
[予備費]	0		50,000,000	
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,285,054,000	962,680,926	322,373,074	

## 3. 貸借対照表

(単位：円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	26,323,213,435	27,601,119,726	△ 1,277,906,291
	有形固定資産	8,334,253,550	8,494,081,586	△ 159,828,036
	土地	1,677,877,442	1,677,877,442	0
	建物	3,524,795,202	3,782,469,566	△ 257,674,364
	教育研究用機器備品・図書他	3,131,580,906	3,033,734,578	97,846,328
	特定資産	17,977,377,112	19,095,323,367	△ 1,117,946,255
	減価償却引当特定資産	8,937,573,025	9,562,161,451	△ 624,588,426
	第2号基本基金引当特定資産他	9,039,804,087	9,533,161,916	△ 493,357,829
	その他の固定資産	11,582,773	11,714,773	△ 132,000
	流動資産	2,783,017,174	2,482,772,749	300,244,425
現金預金	1,447,430,671	1,181,716,505	265,714,166	
未収入金他	1,335,586,503	1,301,056,244	34,530,259	
資産の部合計	29,106,230,609	30,083,892,475	△ 977,661,866	
負債の部	固定負債	1,114,466,707	1,136,710,254	△ 22,243,547
	退職給与引当金	1,114,466,707	1,136,710,254	△ 22,243,547
	流動負債	472,051,234	464,788,627	7,262,607
	未払金	180,077,065	135,393,678	44,683,387
	前受金他	291,974,169	329,394,949	△ 37,420,780
負債の部合計	1,586,517,941	1,601,498,881	△ 14,980,940	
純資産の部	基本金	30,474,144,639	30,443,476,067	30,668,572
	繰越収支差額	△ 2,954,431,971	△ 1,961,082,473	△ 993,349,498
	純資産の部合計	27,519,712,668	28,482,393,594	△ 962,680,926
負債及び純資産の部合計	29,106,230,609	30,083,892,475	△ 977,661,866	

## 新任教授紹介



歯学部

口腔機能分子生物学講座

教授 前田 豊信

2023年4月1日付けで歯学部

教授（口腔口腔機能分子生物学講座担当）を拝命いたしました。

講義は生物学と口腔生化学を担当します。私は兵庫県西宮市で生まれ育ちました。駿台甲府高校を卒業後、1994年に第23期生として奥羽大学に入学しました。学部卒業後は、本学大学院で堀内登元教授の指導の下、口腔生化学を専攻しました。大学院修了後から現在まで、口腔機能分子生物学講座に所属して、教育活動、研究活動に従事しております。

思い起こせば、30年前の私が学生だった頃、インターネットはまだ普及しておらず、それが普及した社会は絵空事のようなものでした。しかし、こ

十年で私たちの生活を取り巻く環境は大きく変化しました。インターネット上には、膨大な量の音楽・動画コンテンツが存在しています。世の中には、「タイパ（タイムパフォーマンス、時間対効果）」という言葉が浸透しています。現在の若い学生さんたちは、この言葉に象徴されるように、音楽・動画コンテンツの倍速再生視聴に慣れた世代です。今後入学される学生さんには、AIを上手く使いこなす世代になってくるのかも知れません。私は、このような学生さんたちに講義をする中で、日々、彼らから多くの刺激を受けております。

環境の変化は、現在私が担当している科目でも起きています。私が学生だった頃は、担当する口腔生化学は歯科医師国家試験の中で、比較的重要度が高くない科目であったと記憶しています。しかし、現在は当時と異なり、歯科医師国家試験の合格基準が大幅に変更されました。加えて臨床実習開始前共用試験のCBTが実施され

ています。このため、口腔生化学を含めた基礎科目は、あの当時とは比較にならないほど、歯学部教育の上で重要度が増しています。学生さんたちが歯科医師の道を歩みだす目標を達成できるようにお手伝いをする立場として、彼らの「時間対効果満足度」を常に意識して、日々の講義・実習に励む所存です。

現在、第48期生が来年3月に巣立って行く準備をしております。私が第23期生ということを見ると、1期生から数えてちょうど真ん中の世代にあたります。私が学生の時に、同窓の先生方やその他の先生方から教わったことを、私なりに咀嚼して後輩たちに教え伝えていく必要を感じております。本学の先生方と協力して、一人でも多くの優秀な後輩を社会に輩出できるように努力して参りますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



薬学部 人間基礎科学分野  
教授 高橋 成周

本年4月1日、薬学部教授（人間基礎科学分野）を拝命いたしました。この場をお借りして、皆様方にご挨拶申し上げます。

ます。

私は宮城県出身で東北大学大学院薬学研究科において学位を取得したこともあり、人生の大半を東北の地で過ごしております。私の研究分野は、電気化学センサー及び機能性薄膜を利用した薬物放出システムです。少子高齢化が進む現在、地域医療の核となるポイントオブケアはこれから間違いなく伸びる分野です。その中で簡便で安価な電気化学センサーは大きな役割を果たすことが期待されています。本学においてもこれらの研究を継続して発信していくことで地域の医療に貢献していきたいと考えております。

前職の高崎健康福祉大学薬学部では、物理化学、分析化学を担当していました。本学では、初年次のリメディアル化学及び物理について担当します。近年の少子化によって大学全入時代に突入することで学生の獲得競争が激しくなってきました。その中で学生の大学選択も偏差値偏

重から、いかに自分の力を向上させてくれるかを見極める時代になってきたと感じております。その結果、学修ポートフォリオなど大学の授業内容の充実度について目を向けられるようになりました。この流れから、大学入学後のリメディアル教育の充実度も受験生に本学を選んでもらえる重要な要素となってくると考えております。前職においても初年次の物理について担当しており、この経験を生かして学生に選ばれるリメディアル教育構築に貢献していきたいと考えております。

本学には2008～2009年度に在職しており、郡山の地はこれで2度目となります。旧知の先生方も数多く在籍しておられ、教授として再び着任することになり身の引き締まる思いです。前職では入試委員長を4年間担当していたこともあり、研究教育だけではなく入試広報関連の活動についても大きく期待を感じます。微力ではございますが、これまで学んできたことを本学に還元していければと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

---

## 同窓生のひろば

---



天野 カオリ（歯学部18期生）

奥羽大学同窓会の皆さま、18期卒業 天野カオリと申します。

この度は奥羽大学報に寄稿させていただきますこと心より感謝いたします。

まずは令和5年12月1日付けで神奈川歯科大学解剖学講座教授に就任しましたことをご報告させていただきます。

私事で恐縮ですが簡単な略歴と抱負をお伝えさせていただきます。

私が入学した年度より校名が東北歯科大学から奥羽大学となりました。1995年に大学を卒業後、旧口腔解剖学第一講座の主任教授でおられた伊藤一三先生の下、大学院歯学研究科で博士号を取得し、大学院卒後は同講座に4年間助手として在籍しました。当時、講座の齊藤博先生に走査型電子顕微鏡（SEM）の試料作製から操作・観察方法について実りあるご指導を受けました事が糧となり、SEMは現在も研究の中心ツール

となっています。その後大学を退職し、アメリカ・ジョージア州にあるゴルフの聖地として知られるオーガスタに建つジョージア医科大学（現オーガスタ大学医学部）細胞生物・解剖学部門のDr. Paul McNeil研究室に2年3カ月、有給博士研究員として在籍しました。アメリカでの研究成果の一部は2007年にJournal of Dental Research 86 (8) 769-774に表紙採用され、奥羽大学研究奨励賞を拝受しました。帰国後は杏林大学医学部解剖学教室に12年在籍し、医学部学生への系統解剖学教育と、再び肉眼形態研究に没頭しました。

ご縁があり令和1年度より神奈川歯科大学に赴任し今に至ります。

そのご縁は神奈川歯科大学現学長、奥羽大学の先輩（11期）でもある櫻井孝先生が繋いで下さいました。

私が率いる解剖学講座には昨年より縁続きで大学院の後輩である志賀華絵先生（24期）を常勤講師として招きました。また当学には、矯正歯科学講座に畠中玲奈先生（35期）、口腔外科学講座には小松紀子先生（33期）も在籍されています。周知のとおり、未だ全国私立歯科大学並びに歯学部は厳しい状況下に置かれています。今後、神奈川県支部同窓会の諸先生方と共に少しでも歯学界を盛り上げるために至力していきたい所存です。

また渡米前にお力添えをいただきました清浦有祐学長にこの場をお借りして御礼申し上げます。

もとより微力の身ですが同窓の先生方には今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。末筆となりますが奥羽大学の皆さまの御健康を祈念申し上げます。

## 人 事

### <指定職>

清浦 有祐	学 長		4月1日付
瀬川 洋	歯 学 部	歯 学 部 長	〃
鈴木 史彦	附 属 病 院	病 院 長	〃
川合 宏仁	歯 学 部	学 生 部 長	〃
安部 仁晴	大 学 院	研 究 科 長	〃

### <任用>

安部 将太	講 師	口 腔 外 科 学	4月1日付
大塚 沙有美	助 手	附 属 病 院	〃
伊澤 輝	助 手	附 属 病 院	〃
亀井 夏美	助 手	附 属 病 院	〃
内藤 大貴	助 手	附 属 病 院	〃
長浜 真司	助 手	附 属 病 院	〃
二瓶 義勝	助 手	附 属 病 院	〃
高橋 成周	教 授	薬 学 部	〃

### <任用更新>

山田 嘉重	教 授	歯 科 保 存 学	4月1日付
金 秀樹	教 授	口 腔 外 科 学	〃
宇佐美 晶信	教 授	生 体 構 造 学	〃
今井 元准	教 授	口 腔 機 能 分 子 生 物 学	〃
長崎 慶太	講 師	歯 科 保 存 学	〃
吉田 健司	講 師	口 腔 外 科 学	〃
山野 辺晋也	講 師	成 長 発 育 歯 学	〃
白田 真浩	講 師	放 射 線 診 断 学	〃
大木 英俊	助 教	附 属 病 院	〃
橋本 昌典	助 教	附 属 病 院	〃
橋本 有加	助 教	附 属 病 院	〃
山口 雄大	助 教	附 属 病 院	〃
飯島 康基	助 教	附 属 病 院	〃
佐々木 慎一	助 教	附 属 病 院	〃
根本 奈央子	助 教	附 属 病 院	〃
松村 賢史	助 教	附 属 病 院	〃
玉木 望	助 教	附 属 病 院	〃
木田 雄一	准 教 授	薬 学 部	〃
佐藤 亜希子	准 教 授	薬 学 部	〃

### <昇任>

山崎 厚作	講 師	助 教	4月1日付
	歯 科 保 存 学	附 属 病 院	
内田 光洋	講 師	助 教	〃
	歯 科 補 綴 学	附 属 病 院	
渡部 議之	講 師	助 教	〃
	歯 科 補 綴 学	附 属 病 院	
西 祐也	講 師	助 教	〃
	口 腔 外 科 学	附 属 病 院	
佐藤 光	講 師	助 教	〃
	口 腔 外 科 学	附 属 病 院	
赤穂 麗子	講 師	助 教	〃
	口 腔 外 科 学	附 属 病 院	
倉品 先秀	助 教	助 手	〃
	生 体 材 料 学	生 体 材 料 学	

影山 直	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	<再雇用>				
永井 春 菜	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	角田 真 伴	技 術 職 員 (課 長)	総 務 部	4月1日付	
神山 巧	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	田 卷 勝 幸	警 備 職 員	総 務 部	〃	
嶋田 伊 吹	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	原田 清 子	労 務 職 員	総 務 部	〃	
高橋 泰 我	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	宇 佐 見 正	技 術 職 員 (主 任)	学 事 部	〃	
高橋 晃 司	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	佐藤 道 子	事 務 職 員	学 事 部	〃	
若松 慶 一 郎	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	影山 利 夫	事 務 職 員	学 事 部	〃	
鳥崎 尚 弥	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	御代 田 明 彦	歯 科 技 工 士 (係 長)	病 院 医 療 部	〃	
山崎 翠	助 附 属 病 院 教 助 手	助 附 属 病 院 手	〃	遠藤 龍 弥	放 射 線 技 師 (主 任)	病 院 医 療 部	〃	
櫻井 敏 博	附 属 病 院 教 授 准 教 授	附 属 病 院 准 教 授	〃	馬場 マ キ 子	看 護 師	病 院 医 療 部	〃	
	薬 学 部	薬 学 部		本 田 ヨ リ 子	栄 養 士	病 院 医 療 部	〃	
<再任用>	新	旧		<異動>				
清浦 有 祐	教 授	教 授	4月1日付	加川 千 鶴 世	講 師	講 師	4月1日付	
	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	口 腔 病 態 解 析 制 御 学			口 腔 外 科 学	成 長 発 育 歯 学		
瀬川 洋	教 授	教 授	〃	神林 直 大	講 師	講 師	〃	
	口 腔 衛 生 学	口 腔 衛 生 学			口 腔 機 能 分 子 生 物 学	口 腔 外 科 学		
山森 徹 雄	附 属 病 院 歯 科 補 綴 学	附 属 病 院 歯 科 補 綴 学	〃	櫻井 裕 子	講 師	講 師	〃	
押尾 茂	教 授	教 授	〃		生 体 構 造 学	口 腔 病 態 解 析 制 御 学		
小池 勇 一	教 授	教 授	〃	<退職>				
	薬 学 部	薬 学 部		大野 敬	教 授	附 属 病 院	3月31日付	
伊藤 鍛	教 授	教 授	〃	清野 晃 孝	准 教 授	附 属 病 院	〃	
	薬 学 部	薬 学 部		五十嵐 一 彰	講 師	歯 科 補 綴 学	〃	
佐藤 研	教 授	教 授	〃	富田 修	講 師	口 腔 外 科 学	〃	
	薬 学 部	薬 学 部		小鷲 啓 典	助 教	附 属 病 院	〃	
<職務転換>	新	旧		小松 晶 子	助 教	附 属 病 院	〃	
大橋 明 石	局 長	講 師	4月1日付	佐久間 大 季	助 教	附 属 病 院	〃	
	事 務 局	口 腔 衛 生 学		小菅 満 広	助 教	附 属 病 院	〃	
<昇格>	新	旧		高良 宗 斉	助 教	附 属 病 院	〃	
三浦 孝 英	病 院 事 務 長	課 長	4月1日付	田中 真 帆	助 教	附 属 病 院	〃	
	病 院 事 務 部	病 院 事 務 部		鈴木 琢 矢	助 教	附 属 病 院	〃	
佐久間 隆 道	課 長	事 務 職 員	〃	佐藤 璃 奈	助 教	附 属 病 院	〃	
	学 事 部	学 事 部		中川 雄 介	助 教	附 属 病 院	〃	
大塚 聖 子	看 護 主 任	看 護 師	〃	佐藤 健 太	助 教	附 属 病 院	〃	
	病 院 医 療 部	病 院 医 療 部		宮武 宏 明	助 教	附 属 病 院	〃	
<採用>				中瀬 由 希	助 手	附 属 病 院	〃	
佐久間 み つ き	歯 科 技 工 士	病 院 医 療 部	4月1日付	山下 俊 之	教 授	薬 学 部	〃	
飯村 あ か り	歯 科 衛 生 士	病 院 医 療 部	〃	木皿 重 樹	教 授	薬 学 部	〃	
國分 美 沙 希	歯 科 衛 生 士	病 院 医 療 部	〃	熊谷 文 哉	助 教	薬 学 部	〃	
鈴木 夏 音	歯 科 衛 生 士	病 院 医 療 部	〃	車田 文 雄	局 長	事 務 局	〃	
若林 綾 乃	歯 科 衛 生 士	病 院 医 療 部	〃	泉 亜 紀	歯 科 衛 生 士	病 院 医 療 部	〃	
				石河 達 雄	歯 科 技 工 士	病 院 医 療 部	〃	
				宗像 恭 史	助 教	附 属 病 院	4月28日付	
				小田 中 啓 太	講 師	薬 学 部	5月31日付	

最大6年間  
**学費**  
フルサポート  
返納義務無し

# 給付型 特待生 制度

キミのやる気と実力を存分に活かしてほしい。  
医療人としての人生をここから始めよう。  
人間性豊かな歯科医師、薬剤師になるために。

**歯学部**

**薬学部**



**奥羽大学** **歯学部** **薬学部**

TEL. **024-932-9055** (歯学部)

TEL. **024-932-8995** (薬学部)

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1  
FAX. 024-933-7372 E-mail: info@ohu-u.ac.jp

奥羽大学 **検索** [www.ohu-u.ac.jp](http://www.ohu-u.ac.jp)

奥羽大学 **東北歯科専門学校**  
姉妹校

**歯科衛生士科** **歯科技工士科**